

## 野生鳥獣保護管理技術者育成研修(カワウ)講義資料

この講義資料は、下記の研修のために使用されたものです。

そのため、情報が古い場合があります。

また、Webでの掲載のために一部修正や削除、構成の変更をしているものがあります。

---

### 2008年度 野生鳥獣保護管理技術者育成研修会(カワウ)

対 象: 都道府県の鳥獣行政担当者、水産行政担当者、内水面漁業関係者、その他  
カワウの保護管理、調査、被害防除に関わる者

開 催 日: 2009年2月16日(月)～2月18日(水) 2泊3日

場 所: カリアック(静岡県浜松市)

講師と科目: 加藤ななえ(カワウの生態)

: 徳田裕之(特定鳥獣保護管理計画とカワウの広域保護管理)

: 鉢嶺朗(カワウ対策に充てられる補助金と鳥獣害防止特措法について)

: 秋山雄司・谷高弘記(天然アユを増やす為の取り組みとカワウ食害対策事業)

: 島軒治夫(山形県内水面漁連のカワウ対策の取り組み)

: 北川捷康(静岡県におけるカワウの生息状況の変遷)

: 高木憲太郎(地域実施計画とは?)

: 岡部晋治(静岡県カワウ保護管理の体制と実施計画)

: 藍憲一郎(夷隅川・養老川水系におけるカワウの食性調査および被害量の算定)

: 坪井潤一(カワウ漁業被害防止の取り組み ～餌場での捕獲と飛来防止対策～)

野 外 実 習: 天竜川(静岡県) カワウの追い払い体験とアユの遡上調査の視察

: 浜名湖(静岡県) 湖畔のねぐらでのねぐら入り見学

現地説明者: 天竜川漁業協同組合

: 北川捷康

: NPO 法人バードリサーチ

---

## (4) 天然アユを増やす為の取り組みと カワウ食害対策事業

天竜川漁業協同組合  
秋山雄司・谷高弘記

天竜川には数多くのカワウが飛来します。  
内水面漁協においてカワウの食害は深刻です。  
魚族資源の減少に歯止めが利かない中、資源量の維持に  
苦慮しています。

### 1. 天然アユを増やす為の取り組み



天竜川は近年、環境の悪化などにより天然アユ資源が減少し続けています。天竜川漁協では平成 17 年秋から天然アユ資源回復計画を立て、川やアユの実態を把握するために様々な調査を始めました。その調査結果や過去の資料を基に、効果的な保護区の設定や漁法制限の実施、さらにアユ産卵場造成等を行ない、天然アユ資源量の維持・回復に努めています。

### 2. カワウ食害対策事業



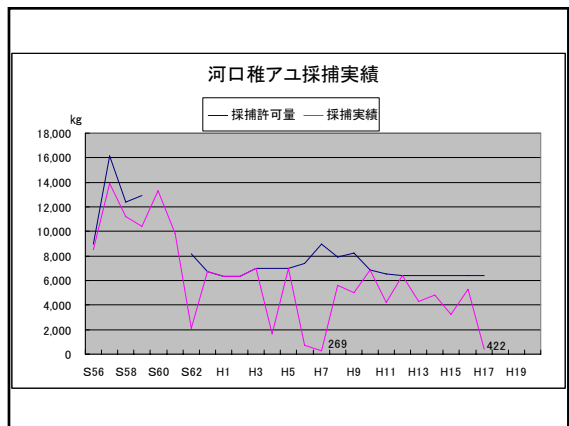
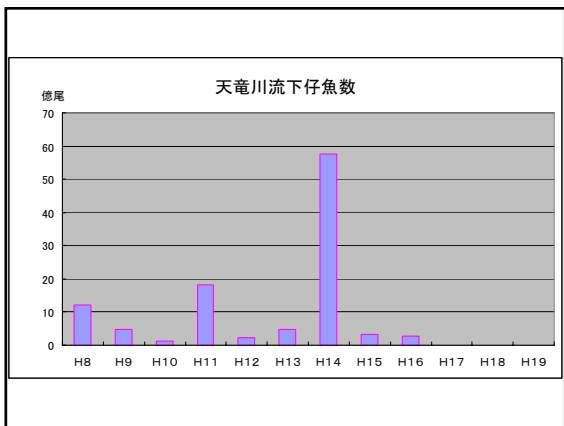
カワウは増加傾向にあり、資源量とカワウ羽数のバランスは大きく崩れています。また、放流魚を喰われてしまうなど、増殖義務を伴う内水面漁協にとっては、まさに死活問題です。

天竜川へのカワウ飛来状況を知って頂くとともに、天竜川漁協が行なっているカワウ食害対策事業をご紹介します。



**なぜ天然アユを増やす必要があるのか？**

**資源量が減少  
放流効果には限界がある**

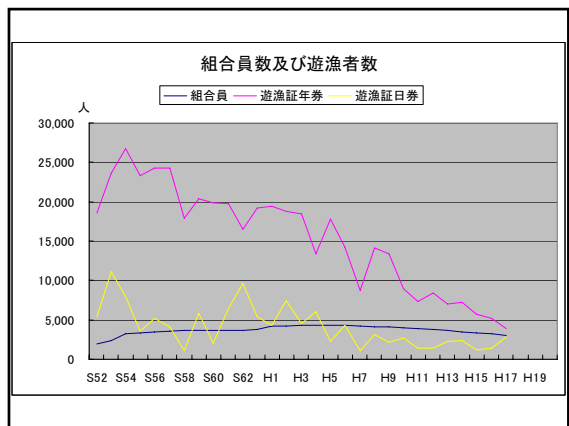


**なぜ天然アユを増やす必要があるのか？**

**資源量が減少  
放流効果には限界がある**

↓

**組合員・遊漁者の減少**



なぜ天然アユを増やす必要があるのか？

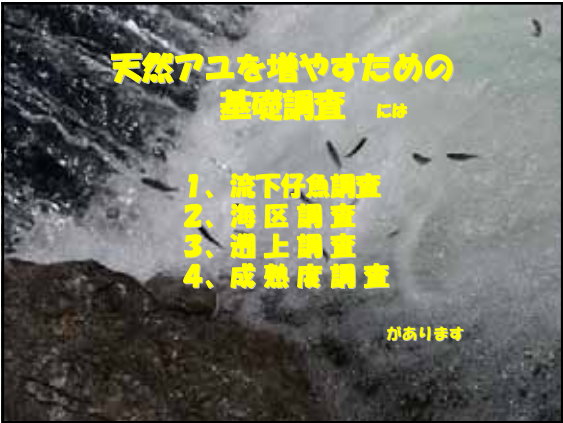
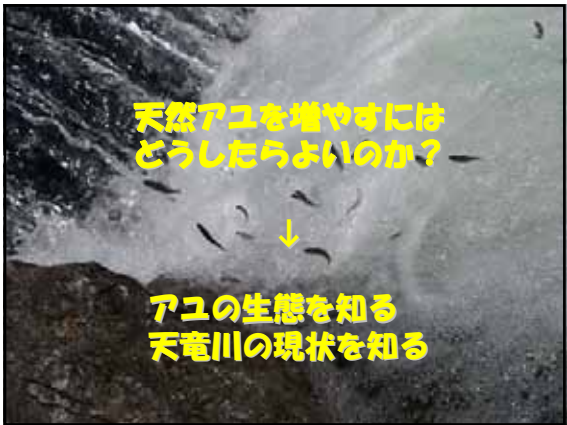
資源量が減少  
放流効果には限界がある

↓

組合員・遊漁者の減少

↓

組合運営の危機





## 2、海区調査



## 2、海区調査

海に降ったアユ仔魚の生態調査。  
分散状況や成長を調べる。  
3ヶ所にて調査。  
冬に調査。





**3、遡上調査**

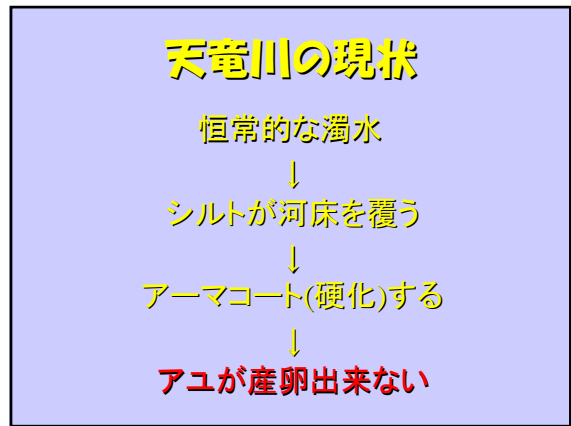
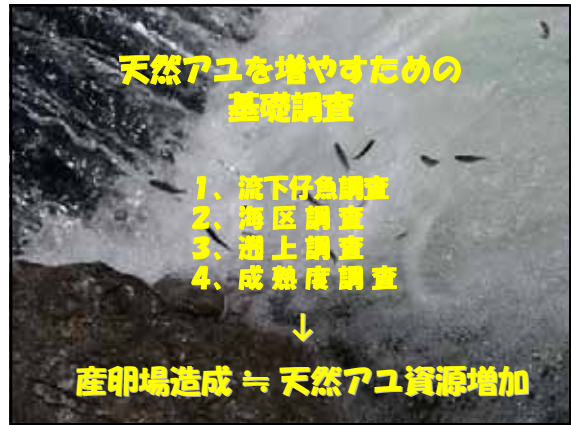
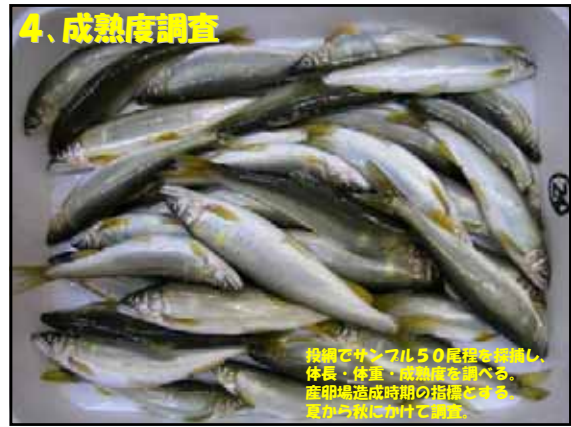
川に遡上してきた稚アユを地引網で採捕する。アユの耳石を調べることにより、遡上アユの孵化日を特定する。春に調査。



**耳石**

孵化後1日に1本刻まれる輪紋。その数=日齢を数え逆算することにより、孵化日を特定する。

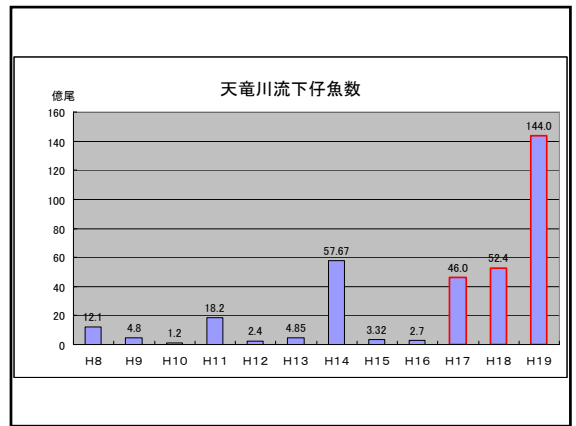
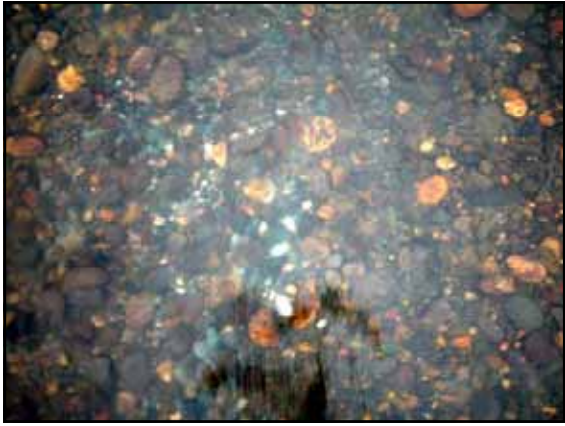


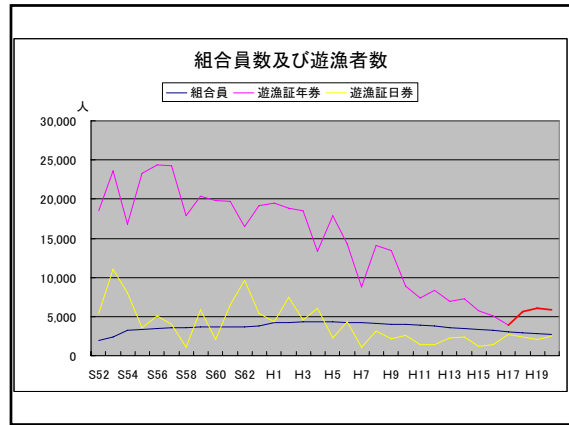
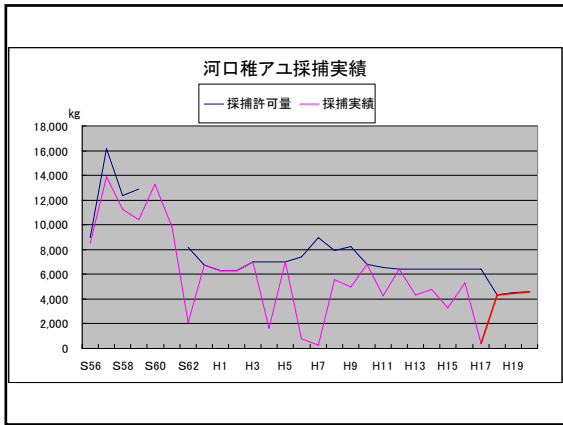












### 天竜川におけるカワウ状況

- ・平成8年頃から顕著に
- ・天竜川以西から飛来
- ・天然アユ(遡上・親魚)を喰う
- ・放流アユも、もちろん喰う
- ・その他の漁業権魚種も喰う  
(ニジマス・ウナギ・フナなど)
- ・釣客にマイナスイメージ











**天竜川におけるカワウの飛来映像**

**月日 2001. 4. 13**

**場所 船明ダム下**

**撮影者 天竜川漁協 事業場長**  
(現参事)

**カワウ追い払い**

| 1月   | 2月   | 3月   | 4月 | 5月 | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月 | 11月  | 12月  |
|------|------|------|----|----|------|------|------|------|-----|------|------|
| 追い払い | 追い払い | 追い払い | 捕獲 | 捕獲 | 追い払い | 追い払い | 追い払い | 追い払い | 捕獲  | 追い払い | 追い払い |

追い払い・・・ 漁協役職員の監視業務内にて実施。  
その他、協力して頂ける方にも依頼。  
爆竹・ロケット花火を使用。



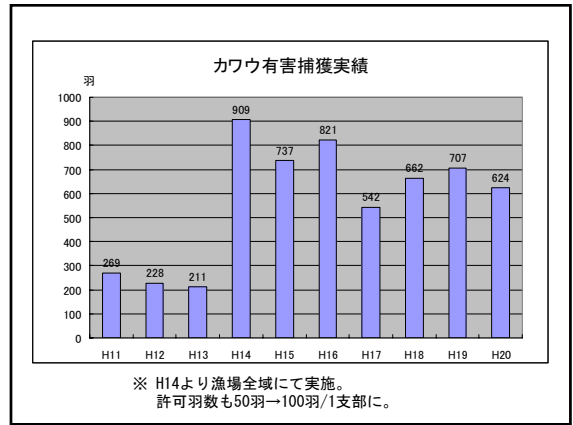
### カワウ有害捕獲

| 1月   | 2月   | 3月   | 4月 | 5月 | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月 | 11月  | 12月  |
|------|------|------|----|----|------|------|------|------|-----|------|------|
| 追い払い | 追い払い | 追い払い | 捕獲 | 捕獲 | 追い払い | 追い払い | 追い払い | 追い払い | 捕獲  | 追い払い | 追い払い |

捕獲...
銃器により捕獲。  
静岡県西部猟友会に業務委託。







この他の防除策として...

- 放流魚の分散放流
- 魚族の『隠れ家』造成
- 防鳥テープ張り
- 案山子
- 爆音機

がありますが...

- 放流魚の分散放流
- 魚族の『隠れ家』造成
- 防鳥テープ張り
- 案山子
- 爆音機

**川幅の広い天竜川では効果的でないのでは？**

## 天竜川漁協のカワウ食害対策

「追い払い・捕獲」の効果と課題

### 効果

- ・近距離のカワウには効果あり。
- ・カワウの事実的減少。

### 問題点

- ・遠距離のカワウには効果なし(届かない)
- ・上下流に逃避するだけ。
- ・減少しているより、増加している感が拭えない。

### その他

- ・コストが掛かる。
- ・鉛弾による環境負荷。
- ・近隣への配慮。
- ・カワウの死骸処理。

根本的解決には  
なっていない

### 漁協がカワウ食害対策を行なうのは・・・

- ・漁協という体質上、魚族資源の保護・増殖をするのは必然だが、減少を食い止める事も重要である。
- ・しかし、現在の天竜川漁協のカワウ食害対策では効果が不十分である。

### 漁協が願うのは・・・

- ・天竜川漁協は決してカワウを殺したい訳ではないので増殖したカワウを減らすのではなく、増殖し過ぎないカワウの管理が望まれる。

限られた魚族資源に対し、  
人と適正な数のカワウが  
『共存』出来る仕組みが  
あればいいのだが・・・。

# END